



T O S H O

知 是 力 也

2017年10月号 (H29.10.18)

今年も秋が深まり、寒さもしいにつのる「灯火親しむ」季節になりました。

図書室では、読書の秋にふさわしく、
各クラスの図書委員による購入希望調査や大手書店のベストセラーの結果を参考に
色々な本を取り揃えています。

昼休みや放課後にぜひ足を運んでみてください。



10月27日～11月9日は、「読書週間」です。

終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって『読書週間』がスタートしました。当時の反響はとて大きく、翌年からは10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と期間も定められ、この運動は全国に広がっていきました。

『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は今日世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

「ようこそ！図書室へ」 曾我部美子

（事務職員・図書室担当）

私は内田康夫を100冊読破したのをきっかけに、浅見光彦ファンクラブに入会しました。萩や宇部が舞台となった「萩殺人事件」「汚れちまった道」など、自分の知っている場所・風景が小説の中に出て来るだけでワクワクするものです。中には「殺人現場」ということもあるのですが。

私のような偏った読書は決してお薦めできるものではありません。

皆さんの中には、電子書籍で読書を楽しんでいる方も多いと思います。紙の本を手にとってみてください。なかなか良いものです。

いろんなジャンルの本を読みたい人、探している人、是非、図書室に来てみてください。「紙も電子も読みこなす」そんな力が必要になるかもしれませんよ。

第17回長南地区合同読書会に、本校から2名の生徒が参加

夏休み中の8月9日（水）に宇部高校で開催された合同読書会に本校から2名の生徒が参加し、重松清の『きみの友達』を対象作品として、他校の生徒と実りある意見交換を行いました。

参加したのは、西村桜来さん（子2）と門田和磨くん（電1）です。



（裏面に続く）

読書会に参加した門田和磨くん

合同読書会では他校の人と、読んだ本の意見を発表したり、
いろいろな視点やテーマで話し合うことができ楽しかったです。
その日初めて会った人達に自分の思っていることや感じたことを話すのは緊張しましたが
この合同読書会は自分にとって、とてもいい経験になったと思っています。

新着図書（一部）

『よるのばけもの（住野よる）』

『バドルの子』 『タイムマシンのつくり方』 『緊張をとる』 『チア☆ダン』
『1日1分見るだけで目がよくなる28のすごい写真』 『影裏(沼田真佑)』
『ボクシングパーフェクトマスター 基礎から応用まで一気に上達！』
『甲子園進化論－女子の力で変わる未来の甲子園』 『忍物語(西尾維新)』
『ざんねんないきもの事典－おもしろい！進化のふしぎ異端のスズメ』
『論理的思考力を鍛える33の思考実験(北村良子)』 『生涯投資家(村上世彰)』
『人工知能時代を生き抜く子どもの育て方』 『宇宙を仕事にしよう！』 『新・映像の世紀大全』
『旅に出たくなる地図－世界』 『旅に出たくなる地図－日本』 『科学のあらゆる疑問に答えます』
『日本中枢の狂謀(古賀茂明)』 『君のいる世界(櫛野ゆい)』 『敏感すぎて困っている自分の対処法』
『誰もボクを見ていない(山寺香羅)』 『会話もメールも英語は3語で終わります』 『傷物語』
『未来の年表-人口減少日本でこれから起きること』 『マンガで読破 相対性理論』 『i(アイ)』
『ヨーロッパサッカー・トゥディシーズン開幕号〈2017-2018〉』 『この世の春(宮部みゆき)』
『オーバーロード』 『「考え、議論する道徳」を実現する！』

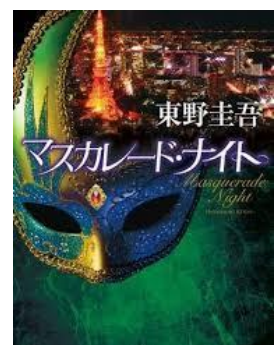


『マスカレード・ナイト』

『航空・貨物の謎と不思議』



『教師のためのケース別アンガーマネジメント』
『月たった2万円のふたりごはん』
『高倉健-七つの顔を隠し続けた男』
『あるかしら書店(ヨシタケシンスケ)』
『大学病院の奈落(高梨ゆき子)』
『月の満ち欠け(佐藤正午)』
『イノセント・デイズ(早見和真)』
『最新の医学が証明した究極の疲れないカラダ』
『知ってはいけない - 隠された日本支配の構造』
『「保険のプロ」が生命保険に入らないもっともな理由』
『トヨタ式おうち片付け-5つの「しくみ」でみるみる片づく！』



保護者の方にも、この図書だよりを渡してください。